

様式4

プロポーザル方式における特定結果書

1. 業務名 北陸地域港湾の事業継続計画における実効性向上検討業務
2. 所属事務所 北陸地方整備局
3. 方式 簡易公募型プロポーザル方式
4. 技術提案書の提出要請日又は選定通知日
令和7年7月3日
5. 公示日 令和7年6月13日
6. 特定通知日 令和7年8月6日

技術提案書提出者	特定の有無	特 定 さ れ な か っ た 理 由
公益社団法人日本港湾協会	○	

プロポーザル評価表

1. 業務名北陸地域港湾の事業継続計画における実効性向上検討業務
2. 所属事務局北陸地方整備局
3. 方式簡易公募型プロポーザル方式
4. 技術提案書の提出要請日又は選定通知日
令和7年7月3日
5. 特定通知日令和7年8月6日

評価項目	評価の着目点				配点	公益社団法人日本港湾協会
						評価点
経歴及び能力	管理技術者	要資格	技術者	技術者資格等、その専門分野の内容	8	8.0
		専門技術力	実績	平成27年4月1日から本業務の公示日までの同種又は類似業務の実績の内容	12	12.0
			成績	令和3年度から令和6年度までに完了した請負業務成績評定点（技術者評定点）の平均点	25	20.0
			表彰	令和2年度から令和5年度までに完了した建設コンサルタント等業務に係る優良技術者表彰 令和3年度から令和6年度に受賞した災害対策関係功労者表彰又は災害活動への感謝状 又は 令和3年度から令和6年度に受賞した海外インフラプロジェクト表彰	5	—
		小計（予定技術者）				50
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。		20	12.0
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。		10	6.0	
		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。		10	7.3	
	その他	有益な代替案、重要事項の指摘事項がある場合に優位に評価する。		10	6.0	
小計（実施方針）				50	31.3	
全体	特定テーマ1	実施方針等を含めた技術提案全体の整合性		実施方針等を含めた技術提案全体の整合性が高い場合に評価し、矛盾がある等整合性がとれていない場合は評価しない。	20	17.3
		的確性	る被災地での支援の留意事項に海上支援ネットワークのあり方を検討する	【テーマ設定の背景】 「令和6年能登半島地震」での経験を踏まえ「北陸地域港湾の事業継続計画」の実効性向上を図るには、近年の大規模化・広域化する災害に対し、支援活動等において港湾に求められる機能を適切に把握・分析したうえで、より充実した内容に更新していくことが重要である。 そのためには、災害発生時の離島・半島等の条件不利地域における被災地支援のための海上を経由する支援活動の重要性を踏まえ、地方港湾を含めた新たな港湾関連連携の形成についての検討が必要である。	10	10.0
				【評価基準】 「北陸地域港湾の事業継続計画」更新に向け、被災地支援のための海上支援ネットワークのあり方を検討するうえで の留意事項について、着目すべき事項が的確かつ具体的に記載されている場合に優位に評価する。		
				着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	10	8.7
		実現性		提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	10	8.7
	提案内容を裏付ける実績や本業務との関連性などが明示されている場合に優位に評価する。			10	6.0	
	特定テーマ2	的確性	い情報伝達訓練の実施計画を作成するうえでの留意事項につ	【テーマ設定の背景】 「令和6年能登半島地震」での経験を踏まえ「北陸地域港湾の事業継続計画」の実効性向上を図るための更新に向け、災害発生時の「離島・半島等の条件不利地域における被災地支援活動の体制」の追加検討が重要となる。 そのためには、追加検討を目的とした、訓練全体の流れや各構成員の行動手順、担当部署を確認するなどの内容を検討したうえで、情報伝達訓練計画を作成する必要がある。	10	8.7
				【評価基準】 「北陸地域港湾の事業継続計画」の更新に向け、災害発生時の「離島・半島等の条件不利地域における被災地支援活動の体制」の追加検討を目的とした情報伝達訓練実施計画の作成を行ううえで の留意事項について、着目すべき事項が的確かつ具体的に記載されている場合に優位に評価する。		
				着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	10	7.3
		実現性		提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	10	8.7
提案内容を裏付ける実績や本業務との関連性などが明示されている場合に優位に評価する。				10	7.3	
小計（特定テーマに対する技術提案）				100	82.7	
技術評価の配点合計(200点満点)				200	154.0	
参考見積	業務コストの妥当性		提示した業務規模と大きくかけ離れている場合には特定しない。		○or ×	○
順位／特定・非特定					1位	／（特定・非特定）